

広告特集

企画・制作 朝日新聞社メディアビジネス局

Happy Häagen Project
—いっしょに食べれば、もっと幸せ—

タレント エッセイスト **安藤和津** さん
食卓に向かつてワクワクする
その気持ちを育てることが大事

大人になってから母と食べる
アイスクリームは至福の時間
映画監督 **安藤桃子** さん



8月10日は、ハーゲンダッツの日。

おいしいものは家族をいい顔にする

ロンドンとニューヨークで学び、現在は高知県を拠点に映画監督業と子育て、執筆、映画館運営と多彩に活躍する安藤桃子さん。エッセイストの安藤和津さんは、そんなコスモポリタンな長女の生き方を信頼し応援する一人です。芸術一家の「特別な楽しみ」はハーゲンダッツのアイスクリーム。その熱いこだわりや思い出を語り合いました。



味のバランス感覚が創作のセンスにつながる

和津 桃子がやっている高知の映画館、いつも面白いラインナップよね。気鋭の作品も過去の名作も粒ぞろい。東京にあつたら通いたいくらい。
桃子 ほとんど本能的な感覚でセレクトしている。これは観客が入るという作品と、入らないかもしれないけれど届けるべき作品を組み合わせて。
和津 え、感覚だけじゃないですか？
桃子 いや本当。いろいろなおかずが入っていて、ときにはピリッとスパイスも利いて、全体で絶妙な味のバランスになるお弁当みたい。お母さんがずつとお弁当作ってくれていたんですよ？あれが今に生かされているのよ。
和津 お弁当ね！確かに人間の舌の鋭敏な感覚で大事で、ほかの感覚が発達するものになると思う。「食って親が子にあげる一番大切な部分だから、何を食べてその子の体が出来上がるのかとか、食卓でワクワクするような気持ちを持つてほしい」と思ってたの。
桃子 味や食材もそうだけど、なんでもありがたいと思ってる習慣が身についた。高知を気に入った理由のひとつは、食が豊かなところ。例えばお酒。お酒って、米、水、麹を扱う人のエネルギーがそろうてできるものじゃない。土地と人が凝縮されている。まさに水が合っているんだと思う。
和津 私も住みたいくらい。人がみんな明るくて優しいし、夜遅くまでお店が開いている(笑)。野菜なんて農業使わないうのが基本なんだからね。
桃子 食べることに真剣なのは、むしろうちのルールにもよるかもしれない。ものを食べながらテレビを見ない、テレビを見るならテレビを見る、酒を飲むなら大いに飲む、騒ぐときは騒ぐ、休むというのは寝ること、というのがあつて、なんとなくグラグラ、みんながらというのを禁じられていたよね。
和津 いつも直球よね。仕事の話はしっかりぶつかり合うし、ごまかさないう。アイスクリームも「なんとなくストックしておく」というのはないのね。
桃子 だからハーゲンダッツのあのフレーバーを食べたい！と思ったら、一直線に買いに行く。ありがたくて、特別な時間になる。
和津 お気に入りはバラをまずストリートでひとさじ食べて、次にブランドを入れるの。
桃子 私はエスプレッソを入れて表面のシヤリッとしたところをバリバリと……もう存分にバラを味わいます。
和津 甘いものをあまり食べないお父さん(奥田瑛一さん)も、ハーゲンダッツのチョコレート味は好きなのよね。
桃子 今は家族みんなが忙しから、たまにお母さんと深夜に「ウオーキング行く？」とかいってぶらぶら散歩して、コンビニでハーゲンダッツを選ぶとき、至福なんだよね。
和津 好きなフレーバーが売り切れて残念！なんて会話も楽しいのよね。それで家に帰って酌量しているお父さんに、はい、チョコレート味のハーゲンダッツよって(笑)。

アイスクリームの思い出と受け継がれる親子の絆

和津 ハーゲンダッツといえば、1984年に日本に上陸して、青山にすい行列ができたのよね。当時元気がたつたおばあちやま和津さんの母は、あの時代にしてはすごくモダンな人で、アメリカで食べたアイスクリームのことを「日本とまるで違う」とよく話していたの。それで行列に並んでやっどハーゲンダッツを食べたとき、「これよ、外国のアイスよ」と



あんどうも(中)奥田瑛一(安藤和津夫妻の長女として生まれる。ロンドン大学芸術学部を卒業して卒業後、ニューヨーク大学で映画制作の修士号取得。帰国後、行定勲監督・奥田瑛一監督の助監督を務め、2010年に脚本も手がけた「カラテカ」で監督デビュー。14年、書き下ろし小説のベストセラーを記録した数々の賞を受賞。

ハートの日(8/10)はハーゲンダッツの日
大切な人とハーゲンハートを探そう！
ハーゲンダッツのふたを開けた時に現れるハート型のクレーター「ハーゲンハート」を探して楽しむサンプリングイベント「ハッピーハーゲンハート」を、東京ほか北海道・宮城・愛知・大阪・広島・福岡の全国7カ所にて開催します。合計2万人にミニカップ「バニラ」もしくはハート限定パッケージの「リッチミルク」をプレゼント。詳しくはウェブサイトです。
<https://www.haagen-dazs.co.jp/happyhaagen/heart/>



すい喜びよ。桃子 それまででかたんでしょね。和津 亡くなる前に口からものが食べられなくなりました。ただのだけれど、あのバラが食べたというので少し舌のせるとこれぞうだった。思い出すわ。桃子 おばあちやま濃厚な味が好きだったのね。そのおばあちやまからお母さんが生まれ、私が生まれて……。和津 私、娘を出産する瞬間にそのサイクルの崇高さを感じて、思わず「おかあさん、ありがとう！」と本能で叫んでいた。和津 ああ、私も、出産のとき世の中のすべてのお母さんはすい！と思ったわ。桃子 今3歳の娘には、人を思いやれる、優しい子に育ってほしいな。でも、彼女は彼女の魂を持って生まれたから、血は繋がっているけれど個人。最も輝ける形を選んで、成長してほしい。お母さんが私たちにしてくれたように、いろいろな経験をさせてあげたいと思っています。
和津 そうね。あなたたちにも自分で選べるように選択肢を与えて、頭ごなしに否定はしないと決めていたの。桃子は数学が苦手だったけれど、絵を描かせるのすい集中力だったから、うちなのかなって。
桃子 感謝しています！自分のできごとを伸ばしてくれてありがとう。
和津 おいしいものを味わう幸せも大切なね……。

幸せだけで、できている。

まじりけのない美味しさを、大切な人と。



8月10日は、ハーゲンダッツの日。



【安藤和津】衣装協力/ボレロ:DUEdoux、ワンピース:ブティックミュゲ スタ일리スト/松田綾子、ヘアメイク/宮沢かおり 【安藤桃子】スタ일리スト/高橋直子、ヘアメイク/星野加奈子